



CBC NEWS

—中央聖書神学校—

2015年10月号

息吹 Vol.50



「神学校とは何か」

ガリラヤ丸子町キリスト教会

萩野 倫夫 牧師

神学校とは何か。「神」と「学校」の二つの単語がくっついていて、神について教える学校」ということになるだろうか。これは誤りではないと思う。しかし私見では、そして多くの方々が賛同して下さると期待するのだが、「神について教える学校」であるのみならず、「神が教える学校」であるべきだと思う。すなわち「学ぶ主題が神」であるのみならず、「教師も神である」ということだ。

私たちには多かれ少なかれ、「神学生はこうあるべき」というイメージがある。牧師、クリスチャン、未信者の方も、また神学校教師や神学生自身も、「神学生はこうあるべき」という何らかのイメージや理想像を持っている。しかしそれらの集合イメージを満足させようということを神学生に求めるのは、また神学生が自らにプレッシャーをかけるのは、何か大事なものを逸していないだろうか。

神学校が、神について語るだけでなく、神が語るところであるとするなら、恐らく神は、各神学

生に「他の誰かのようにならなくて良い」と語らないだろうか。「わたしがあなただけをデザインしたそのデザインに従って、自分自身になれ」と仰るのではない。言い換えれば、もし神学校が、真に神が語る場所であるなら、画一化された伝道者ではなく、神の個々の神学生における創造のわざが実現しつつある、ユニークな伝道者を生み出すのではない。

真に神を知る者は自己を知る。一般論ではな

く、紙面にはどこにも書いていない、ただ神の設計図にのみある「私」を、各神学生が見出す、そんな神学校にならんことを。神学校の役割は何か。神学生に価値観を押し付けるのではなく、神が個々の神学生に対してもっている設計図に従って、自分自身になるお手伝いすることではないか。

そのような神学校の卒業生は、人にあり得べきクリスチャン像を押し付けることをしないだろう。却って「この方に対する神のご計画は何か」と虚心坦懐に、教会に来る個々の人々と共に探求していく伝道者が輩出されていくだろう。人間の想像力は素晴らしい。私たちが今日に見る文明は、人間の想像力の産物である。しかし神の想像力に比べれば、全く貧乏なものだろう。神の個々人に対する素晴らしいご計画。それが神学生において実現するように。そして神のご計画にある自己を実現しつつある伝道者が、世の七〇億人にある七〇億通りの、神のユニークなご計画を実現するお手伝いをするができるように。

静心

三年 濱崎 恵太

神学校入学前、多くの牧師先生方から言われた言葉の中に「神学校での三年間はあつという間だよ」という言葉があった。どこか冗談のようにも聞いていたこの言葉であるが、これまで過ごしてきた二年半を振り返ってみると、本当にあつという間のように過ぎていった。

この二年半は、私の中でたくさんのことを学ぶことができた期間であった。その学びは、神学的な学びから人間関係に至るまで多岐に亘っている。またその学びの中で、一歩一歩ではあったが、確かに成長できたという実感もある。

来年三月にはいよいよ卒業を迎えようとしている。神学校生活も残り約半年である。だが、まだ学ぶべきこと、やるべきことはたくさん残っている。残りの期間も「全力投球」をモットーに頑張っていきたい。これまでいとも主は私に良いことをして下さった。また、これからの素晴らしい主に期待し、主と共に前進していきたいと思う。

*Schedule

11/3(Tue) CBC フェスタ
11/10(Tue) 早期入学試験
12/6 (sun) ~1/15(Fri) 冬期実習
1/7(Tue)~1/13(Sun) イスラエル研修
1/19(Wed)~2/13(Tue) 研究科
2/16(Tue) 本科入学試験
3/1(Tue) 卒業式
3/5(Sat) 通信科入学試験

中央聖書神学校入試日

早期入学試験
2015年11月10日 (火)
本科入学願書締め切り
2016年2月2日 (水)
本科入学試験
2016年2月16日 (火)
通信科試験願書締め切り
2016年2月23日 (火)
通信科入学試験
2016年3月5日 (土)

〒170-0003 東京都豊島区駒込 3-15-20
電話 : 03-3918-4925

2015年6月号の訂正
有賀春菜さんの好きな聖句
×ゼパニヤ 3:1
○ゼパニヤ 3:17

編集後記

今回も皆さんに CBC ニュースをお届けできることを心より嬉しく思います。今年は全国聖会やCBC フェスタが開催され、行事が盛りだくさんな年です。はじめてCBC ニュースに携わることができました。感謝です。主の道を歩む者として、これからますます日々の学びや訓練に励み、主と共に歩み、邁進していきたいと思う次第であります。

栄光在主
広報部 上本 亮



ブログ「たかどの」
<http://takadonocbc.blog96.fc2.com/>

CBC NEWS -2015年10月号

—広報部—

比嘉真奈美 濱崎恵太
田辺良実 孟一博
上本亮 林賛美
編集責任者: 安田眞
事務局: 中央聖書神学校



夏期派遣報告

嘉手納アッセンブリー教会 派遣

一年 孟 一博

主の御名を誉め称えます。

今年の夏、沖縄の嘉手納アッセンブリー教会に派遣されました。数え切れないほどの恵みで主に感謝するばかりです。

嘉手納アッセンブリー教会は、日曜礼拝に百五十人ほどが参加する、沖縄教区の中で一番教会員の多い教会です。

感謝なことに、この教会はよく神学生に実践を通して経験させていたいただける機会を与えてくださいました。今回の実践は自分にとって、将来の牧会や伝道に活かせるとても貴重な経験となったと信じます。毎回の説教後、教会の兄弟姉妹は必ず励まし言葉を送ってくださいました。また、牧師先生からも直接アドバイスをいただくことができて、非常に恵まれました。

教会の特色として、嘉手納アッセンブリー教会は幼稚園を経営しています。しかし、今まで、自分の一番苦手な分野が子供向けの奉仕でした。その意味で、今回の夏期派遣は自分を訓練される神様の御心だったと思います。感謝すること、今回の派遣で初めて、子供の奉仕の喜びとやりがいを感じる事ができました。今後、どんなに苦しい奉仕であつても、積極的に挑戦していきたいと思うようになります。

最後に、何よりも、嘉手納の愛する兄弟姉妹と親しい関係を築くことができたことを主に感謝します。「孟神学生が帰った後も、私たちは祈っていますよ」という兄弟姉妹の言葉に感動し、涙ぐんできました。

今回の派遣を通して、主はご自分の僕を用いるために、一番良き訓練の場を備えてくださる方であることを、教えられました。すべての栄光が主にありますように。



皆さんのお祈りを感謝します。
今年の夏も、私たち神学生は全国の諸教会・教区で奉仕させていただきました。学ばせていただきました。派遣の中で神様から受けた恵みを報告させて頂きます。

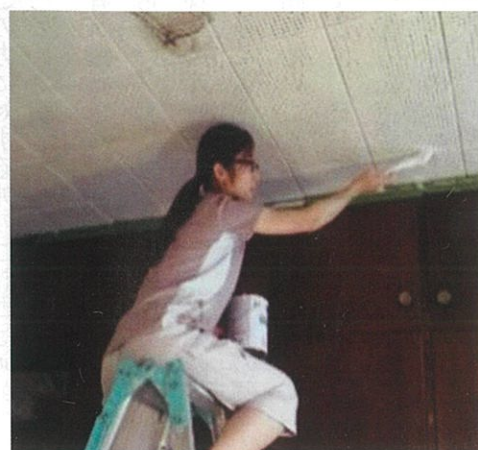


中央福音教会 派遣

一年 田中 寛子

私は、母教会である中央福音教会に派遣となりました。今年で牧会・伝道五十周年を迎えた佐布正義先生・とし子先生、また伝道師の関口尚子先生が仕えておられる教会です。池袋のにぎやかな街を抜けたサンシャインの近くに建てられています。

ゴスペルミニストリーではバイブルスタディーとメッセージをさせていただき、バイブルスタディーに参加した二名が夏期派遣期間中にイエス様を信じるという神の御業をみました。神のことは、それ自身に力があがり、権威があることを実感する教会でした。



福音を真つすぐ大胆に伝える者でありたいと思いました。

他には伝道集会のチラシのポスティングや発送作業、教会記録の打ち込み、ペンキ塗りなどの奉仕をさせていただきました。私は教会に泊まり、先生方や兄弟姉妹と交わりつつ、奉仕をさせていただいたのですが、真摯に主に仕えておられる先生方の姿や小さなことに忠実に奉仕をし、熱心に祈りを捧げる兄弟姉妹の姿がありました。一人ひとりの尊い働きがあつてキリストのからだである教会が建て上げられていること。そしてその中心が礼拝であり、佐布先生の妥協のない深い聖書のメッセージが教会の有機的な働きを支えていること。それにより五十年も揺るぎなくこの地にキリストを証しし続けていることを実感しました。私も主の召しを全うできるよう日々祈り、主に仕えていきたいです。

命のパンチャーチ 派遣

一年 田辺 良実

この夏は新潟県新発田市(しばたし)にありますトニー・サリスベリ先生が牧会される、パトリック先生命のパンチャーチに派遣され、奉仕させていただきました。この教会は宣教師によって立て上げられてきた教会です。ここでは、英会話のお手伝い、HP作り、トラクト配布、説教など様々な奉仕をさせていただきま

した。
この夏期派遣を通して学んだことは、先生方の熱い伝道スピリットでした。新発田市の中にある約百二十世帯ほどの人里離れた集落へ行き、祈り、トラクト配布をし、伝道イベントを行いました。



その場所は神社の隣にある公会堂でした。誰一人知り合いいない、誰が来るかわからない、そのような状況の中でイベントの日を迎えました。しかし、神様は祈りを聞いてくださり、その日隣の神社に遊びに来ていた親子とそのお友達と仲良くなり、その方々が他の友達も誘ってイベントに来てくださいました。誰が集まるかわからなかった中で、神様は魂を送ってくださいました。共に賛美し、御言葉を伝えることができ、素晴らしいイベントの時を持つことができました。二回目は残念ながら参加者がいませんでしたが、神様はこの地域を愛してくださっていることを感じました。

また、伝道するうえで大切なことは一歩踏み出す勇気と主になされるわざに期待し、祈ることだということを学びました。この夏、得たことは他にも多くありますが、その一つ一つを心に留め、良い伝道者になれるよう学びに励んでいきたいと思っています。全てを主に感謝します。

それぞれの派遣先で神の恵みと祝福を感じ、よい学びの時を持つことができました。

今夏で得た経験を糧とし、神に仕える者として相応しい器へと練られていくことを主に期待します。

(一年 上本)



岩見沢神召キリスト教会 派遣

一年 中山 雄

私はこの夏、母教会である北海道の岩見沢神召キリスト教会に派遣され、トラクト戸別配布、公園伝道、聖書の学び会等の奉仕をさせていただきました。

夏期派遣中の様々な経験は私にとって良い学びと訓練になりましたが、その中で最も心に残ったことはある姉妹の洗礼式でした。その姉妹とは私が以前に働いていた職場で知り合い、ある日その姉妹に「中山さんの教会に行っても良いですか」と聞かれたことがきっかけとなつて教会に通うようになりました。実は姉妹はあるクリスチャンの本を通してイエス様と出会い、信仰を持っていた。しかし、教会に行ったことはなく、「いつか教会に行つて洗礼を受けたい」と願っていたのです。そのような状況が十年程続いたある日、職場でクリスチャンの私と出会い、勇気を出して教会に行くことになったそうです。それから受洗までの数か月の間に洗礼式の日が決まり、



家族へ洗礼を受けることを伝え、教区キャンプにおいて聖霊のバプテスマを受けました。洗礼式で姉妹の証しを聞いた時、神様は確かに人の内外に働き、その素晴らしいご計画の中で救いへ導いてくださる方であることを理解しました。また、彼女が教会に通い始めたのと私が神学校に入学したのはほぼ同時期だったのですが、神様は私と入れ違いに一人の姉妹を教会に送り、働き手が減ることのないようにしてくださりました。この経験を通して私は、神様は真実で正しい方であり、献身者を送る時に神様の祝福が教会の上に豊かにあるということを教えられました。

神様のご計画の素晴らしさを認め、教会に与えられた恵みを感謝し、一切の栄光を主に帰してお証しさせていただきます。



CBCサンデー in 仙台グレースチャペル

CBCサンデーの報告
二年 知念 聖
街路の樹々も目に色づき、秋も深まってまいりました。さて、去る八月二〇日に、校長である北野耕一師引率のもと、神学生五人でCBCサンデーと称し、仙台神召基督教会（仙台グレースチャペル）で奉仕させて頂きました。そこで、牧会されている川上牧師夫妻と兄弟連の愛のなか、聖日礼拝で神学生は特別賛美と証をし、北野校長は礼拝説教をさせて頂きました。特別賛美では「花も」を賛美し、



証しでは川上哲司神学生が、救いの証しをさせて頂きました。また、礼拝後は教会の青年会と楽しい交流会をもち、恵みのうちに奉仕を終えました。CBCサンデーを受け入れて下さった仙台神召基督教会に感謝し、主に栄光お帰しいたします。



全国聖会云で受けたチャレンジ
— 賛美ナウ —
二年 佐島 諒
仙台の地で、主に礼拝が献げられ、主に栄光が帰されました。恵まれた聖会であったことを先ず主に感謝いたします。
全国聖会において、神学生たちは主から一つのチャレンジを受けました。それは、どんな時でも主に賛美を捧げることが出来るかというものであります。つまり、それは特別賛美のラップの歌詞にもありましたが、「賛美ナウ」の一言に集約されます。
神学生は聖会で様々な奉仕に与りました。各々の聖会、企画、場所に分かれ神と人とに仕えました。しかし、私たちの霊は燃えていても、肉体は弱いものです。正直な話、聖会全体を通して、少々オーバーワークなスケジュールでした。ですが、そのような状況に置かれたとしても、主の恵みに心を留める時、私たちはこの時にこそ主をほめたたえようと心を新たにされたのでした。
いかなる時にも、主は恵みを注いでくださる。
主に感謝をお献げいたします。

神学生夏期派遣教会

3年生 濱崎恵太 明石キリスト教会（兵庫）
中村陽子 フィリピン派遣

2年生 田辺良実 上越ピープルズチャーチ伝道所（新潟）

知念聖 金沢基督教会（神奈川）
中川恵理也 沖縄教区巡回
土屋真愛 四国教区巡回
柿谷信実 高槻キリスト教会（大阪）
八王子基督教会（東京）

2年生 比嘉真奈美 CBC 派遣
佐島諒 純福音鯖江教会（福井）・北陸教区巡回

1年生 上本亮 宇部神召キリスト教会（山口）
中山雄 岩見沢神召キリスト教会（北海道）
川上哲司 CBC 派遣
山本ルカスシゲミ 名古屋神召キリスト教会（愛知）
ミヤザケエルビトシマサユキソウザ 同上
田中寛子 中央福音教会（東京）
孟一博 嘉手納アッセンブリー教会（沖縄）
林賛美 東京メトロチャーチ（東京）
有賀春菜 千葉グレイスチャーチ（千葉）

ボランティア

神学生の夏期派遣中、各教会から多くの方々がお集まり下さり、神学校の掃除、雑草抜き、池掃除をしてくださいました。
また、こんなに多くの方が神学校を支えて下さっているのだということに改めて実感することができました。暑い中でしたが、皆さんと作業できたことがとても感謝で、私たち学生だけでやっているのではないと分かり、心の支えになりました。ありがとうございました。
一年 比嘉 真奈美

協力下さった教会の皆様

- 川口神召キリスト伝道所
- 小岩栄光キリスト教会
- 十条基督教会
- 神召キリスト教会
- 中央聖書教会
- めぐみ福音キリスト教会

一般献金・ダビデの石奨学金献金（敬称略）2015 年 1 月～9 月

一般献金・個人

アブラハム・リウ、内村義宣
北野耕一、サラ、ブラックストーン
安田（武蔵野基督教会）、吉武
匿名 1
団体
天塚キリスト教会、仙台神召基督教会
中央聖書教会、東京陽光基督教会
本渡基督教会、関東南西教区
関東北東教区、株式会社ヨーゼフ
CGN TV、ICI

ダビデの石

関東北東：中央福音教会
関東南西：武蔵野基督教会
関西：尾崎基督教会
四国：高知聖書教会、中村福音キリスト教会
九州：佐伯聖書キリスト教会
個人：野出テルヨ、田村伸治

CBCって

どんなところ?

中央聖書神学校って一体どういうところなんだろう?そう思う方もいらっしゃると思います。そんな方のために、今回は神学校についてご紹介したいと思います。

中央聖書神学校(通称CBC)は東京都豊島区にあります。二三区内にあり、最寄駅の駒込駅まで徒歩七分という好立地にあります。

●CBCとは
この広報誌も「CBCニュース」と言いますが、CBCとは、中央聖書神学校を英語にする「Central Bible College」となります。その頭文字をとってCBCと呼んでいます。

●先生との交流
学校で教えてくださっている先生方、教団本部にいられた先生方、海外から来られる先生方とお話する機会が多くあります。食事のときは学生だけではなく、先生方と食事を共にし、お話をします。その時に先生方の様々な経験を聞くことができるのは貴重な時です。

●バランスのとれた学び
神学校では毎週火曜日・土曜日まで授業があります。日曜日はそれぞれ派遣された教会で奉仕をし、夏と冬には全国の諸教会へ派遣されます。このように、学びをするだけでなく

実践的に牧会、伝道の働きについても学ぶ機会があります。

●ATA認定校

アジア地域の三〇〇近くの神学校が加盟しているATA(アジア神学協議会)により、本科、通信科、研究科のすべての学位(修士(Dip)、神学士(B.Th)、神学修士(M.Div))が認定されています。CBCの学的レベルが国際的に認められたと同時に、今後加盟校同士による単位交換など、海外の神学校との様々な交流、連携も可能となります。



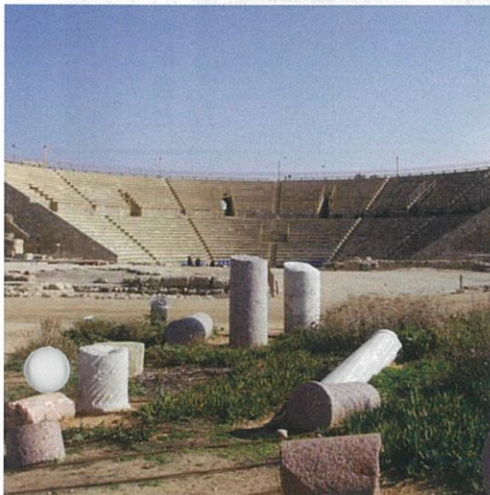
●イスラエル研修の再開

今までに二回行ってきたイスラエル研修が、この度再開することになり、二〇一六年一月七日〜十三日に行われます。

ツアーガイドは、神学校の学生主任であり、イスラエルの公認ガイドの資格も持ちである安田眞師が現地を案内してくださいます。

私たちが読んでいた聖書は、日本の文化、環境とは異なるイスラエルが舞台です。聖書の世界を実際に目で見ることによって、みことばがより身近に感じられるようになると思います。

今回イスラエル研修に参加する二、三年生は毎週一時間、「聖書地理」の講義を受け、イスラエルの地理について学んでいます。普段読んでいた聖書ですが、改めて、地図と比較しながら考えていくと、それぞれの関連性や、イスラエル独特の地形によっておりなされた歴史を考えさせられます。この研修に行く機会が与えられるのもCBCで学ぶ恵みの一つです。



後期講師・事務紹介

■教師 (あいうえお順)

- ・荻野倫夫師 (ギリシャ語2)
- ・菊地和博師 (牧会書簡)
- ・小石臨師 (組織神学3)
- ・小泉智師 (使徒の働き)
- ・白石信之師 (聖書解釈学・組織神学1)
- ・鈴木正和師 (ペンテコステ史)
- ・高橋恵子師 (聖書基礎英語2)
- ・能城一郎師 (キリスト教弁証学)
- ・長谷川忠幸師 (民数記・論文方)
- ・堀川寛師 (新約背景)
- ・三上かをり師 (実践教会音楽)
- ・三宅規之師 (教会史1・ペンテコステ神学の諸課題)
- ・安田眞師 (聖書地理)
- ・ラウジー満世師 (ヘブル語2)
- ・和田佳士師 (ユース・ミニストリー)
- 事務職員
 - ・青木直美姉・榎本優子姉
 - ・富山千鶴姉
- 図書司書
 - ・伊藤めぐみ姉
- 賄い
 - ・有末淳子姉

イスラエル研修のハイライト

今回、イスラエル研修が再開され、神学生と共にイスラエルに出かけることになりました。その為に、学生たちにどうして知っておいてほしいことは、地図を読むことです。地域、川、山、町など50項目を挙げ、毎週の授業で地図の書き込みをしています。それは、教師となる学生たちが、聖書を読みながらその地の光景がまざまざと目の前に浮かんでくるような伝道、牧会の日々を過ごしてもらいたいからです。聖書の出来事とその場所が結び付き、現実の出来事として聖書を読むことが出来るようになるからです。今回の研修で、学生たちを連れて行きたいところを幾つか紹介したいと思います。

*カッスル・エル・イエフツド(写真は、手前がイスラエル、右奥はヨルダンの国になります)。そして、ヨルダン川が両国の国境になります。

主イエス・キリストがバプテスマのヨハネから洗礼を受けたと伝えられているところです。聖書には、「この事があったのは、ヨルダンの向こう岸のベタニヤであって、ヨハネはそこでバプテスマを授けていた(ヨハネ1:8)」と記されています。エリコを見ることが出来ます。主イエスが滞在したエルサレムの近くの「ベタニヤ」とは違います。

ヨルダン川の「ベタニヤ」は1968年の戦争後にイスラエルとヨルダンの国境となり、近づくことが出来ませんでした。その後19



*アルベル山(写真は、アルベル山からの眺望、眼下にはゲネサレの野、ミグダル(新約聖書のマグダラ)の村が見える。遥か彼方にヘルモン山が霞んで見える。)

この山は、聖書に出てきませんが、ガラヤ湖の西岸にそそり立つ山です。この山は国立公園であり、環境保護地区の山です。ヨセフスは、ユダヤ戦記にで、ローマ時代に熱心党と呼ばれるユダヤ人が立て籠り、ゲリラ戦を繰り広げたと記しています。

この山は、ガラヤ湖畔から見ると断崖絶壁ですが、登ってみると広々とした平野になっています。反対から来ると視界が急に開け、断崖絶壁の上に立っていることを知り、眼下に見えるガラヤ湖に感動します。この山は、一説に山上の垂訓の山ではないかと言われています。ガラヤ湖畔の八角形の教会の立つ山上の垂訓のなだらかな丘を女性に例えるならば、アルベル山は荒々しい男性的な山に見えることでしょう。断崖絶壁を登る主イエスの後に弟子たちが従い、群衆の多くは登り切れず、谷を回って主イエスのもとに來たことでしょう。主イエスが説教をされ、みことばをしばらく佇み、読んでみたいと思います。

